

石川県の年齢別推計人口 ～平成27年10月1日現在～

平成27年10月1日現在の石川県の年齢別推計人口について取りまとめました。

概要は以下のとおりです。

(この数値は平成22年国勢調査を基準として推計を行ったものであり、平成27年国勢調査結果とは異なります。)

1 平成27年10月1日現在推計人口

平成27年10月1日現在推計人口は1,152,398人(男558,377人、女594,021人)である。

2 年齢(5歳階級)別人口

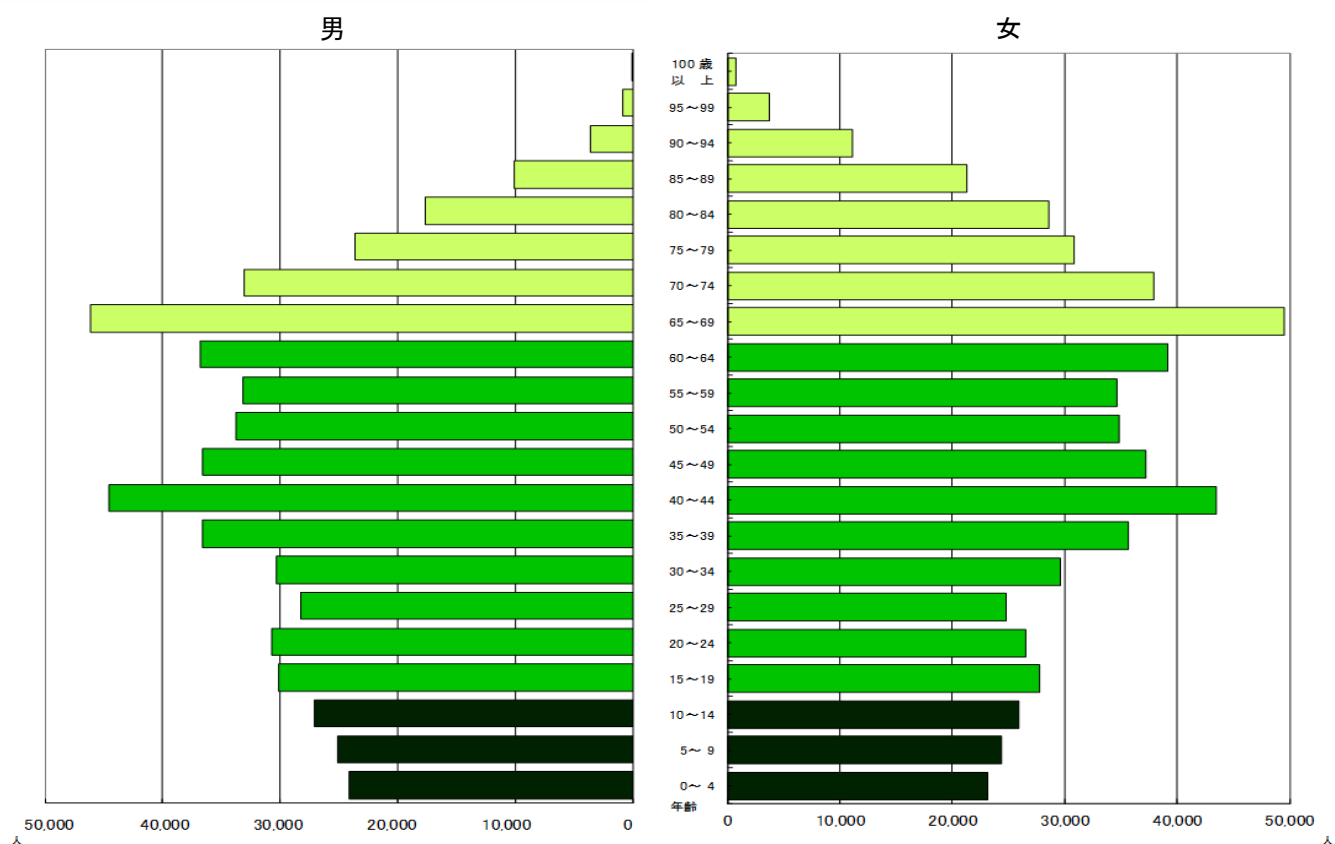
最も多いのは、65～69歳の95,646人

5歳階級別人口では、65～69歳が95,646人と最も多くなっている。

次いで多いのは、40～44歳の88,066人、その次が60～64歳の76,032人となっている。

【図1, 参考表1】

図1 年齢(5歳階級)・男女別人口(平成27年10月1日現在推計)



※65～69歳には、第1次ベビーブーム(昭和22～24年生まれ)の人口が含まれている。

また、40～44歳には、第2次ベビーブーム(昭和46～49年生まれ)の人口が含まれている。

3 年齢3区分別人口

年少人口及び生産年齢人口の減少、老年人口の増加			
		構成比	前年比
年少人口（0～14歳）	149,761人	（13.1%）	△1,965人（0.1ポイント低下）
生産年齢人口（15～64歳）	674,713人	（59.0%）	△8,815人（0.6ポイント低下）
老年人口（65歳以上）	318,707人	（27.9%）	+7,728人（0.8ポイント上昇）

年齢3区分別人口では、年少人口（0～14歳）が149,761人、生産年齢人口（15～64歳）が674,713人、老年人口（65歳以上）が318,707人となっている。

割合をみると年少人口は13.1%で過去最低、老年人口は27.9%で過去最高となっている。前年に比べ、年少人口が1,965人の減少（0.1ポイントの低下）、生産年齢人口が8,815人の減少（0.6ポイントの低下）、老年人口は7,728人の増加（0.8ポイントの上昇）となっている。

また、老年人口のうち65歳から74歳までは166,637人で14.6%、75歳以上は152,070人で13.3%であり、それぞれの老年人口に占める割合は52.3%、47.7%となっている。

【図2-1、図2-2、参考表1】

図2-1 年齢3区分別人口・割合（平成26・27年）

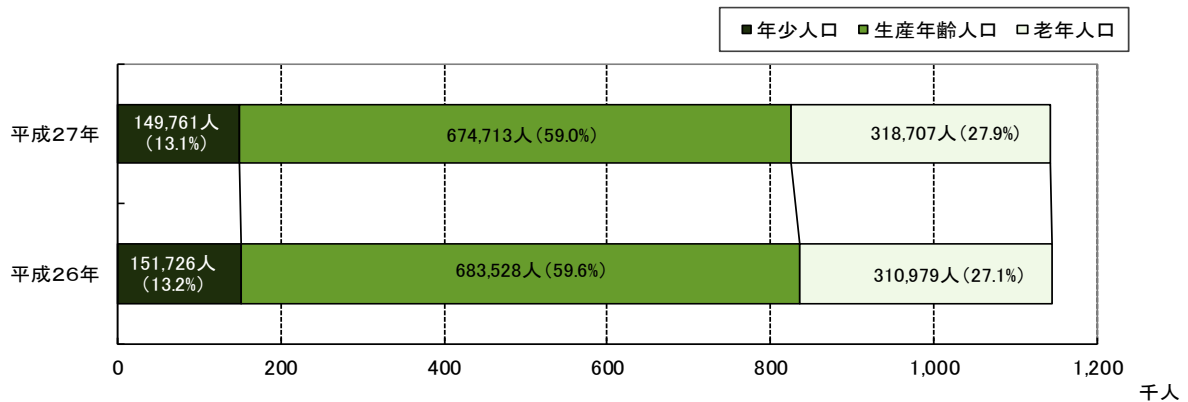
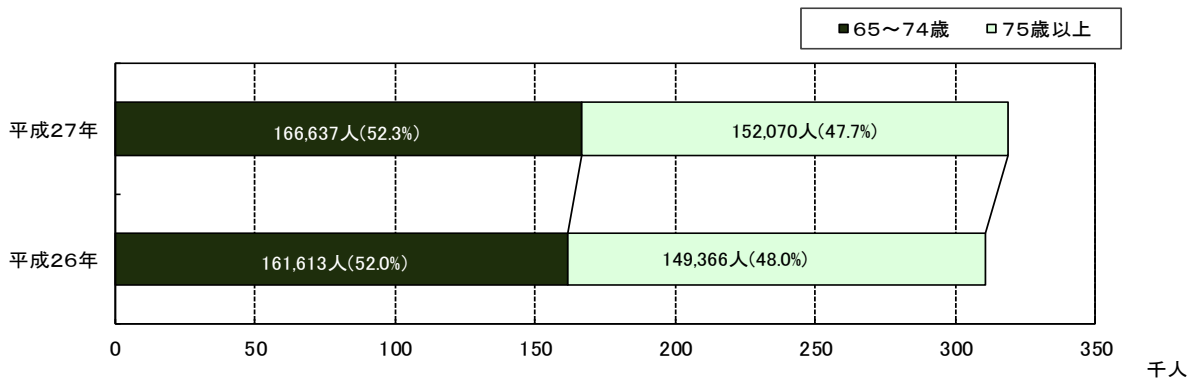


図2-2 老年人口の構成（平成26・27年）



市町別に割合をみると、年少人口では川北町の20.4%、生産年齢人口では野々市市の66.7%、老年人口では珠洲市の47.3%が最も高くなっている。【表1-1、参考表2】

表1-1 年齢3区分別人口割合の順位（平成27年10月1日現在）

区分 順位	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
	市町名	割合（%）	市町名	割合（%）	市町名	割合（%）
1	川北町	20.4	野々市市	66.7	珠洲市	47.3
2	能美市	15.5	津幡町	63.1	能登町	46.7
3	野々市市	15.0	金沢市	61.9	穴水町	46.0
4	津幡町	15.0	内灘町	61.5	輪島市	43.3
5	白山市	14.5	能美市	60.0	志賀町	40.6
15	志賀町	10.2	志賀町	49.2	内灘町	24.6
16	輪島市	8.6	輪島市	48.0	能美市	24.5
17	能登町	8.2	穴水町	46.0	津幡町	22.0
18	珠洲市	8.2	能登町	45.1	川北町	20.5
19	穴水町	7.9	珠洲市	44.6	野々市市	18.3

対前年増減率をみると、石川県全体では年少人口（0～14歳）が1.3%低下、生産年齢人口（15～64歳）が1.3%低下し、老年人口（65歳以上）は2.5%上昇している。

市町別にみると、年少人口、老年人口ともに、野々市市の増加率が最も高くなっている。

【表1-2】

表1-2 年齢3区分別人口対前年増減率の順位（平成27年10月1日現在）

区分 順位	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）	
	市町名	増減率（%）	市町名	増減率（%）	市町名	増減率（%）
1	野々市市	1.5	野々市市	△0.1	野々市市	4.3
2	金沢市	△0.5	能美市	△0.4	川北町	4.3
3	川北町	△0.8	金沢市	△0.5	内灘町	4.1
4	小松市	△1.4	津幡町	△0.8	白山市	3.6
5	白山市	△1.4	小松市	△1.1	津幡町	3.1
15	加賀市	△3.1	七尾市	△3.4	七尾市	1.7
16	羽咋市	△3.6	志賀町	△4.5	穴水町	0.7
17	能登町	△3.8	穴水町	△4.9	輪島市	0.3
18	輪島市	△5.3	珠洲市	△4.9	珠洲市	△0.0
19	珠洲市	△5.9	能登町	△5.3	能登町	△0.3

※増減率 = $\frac{\text{平成27年各年齢区分別人口} - \text{平成26年各年齢区分別人口}}{\text{平成26年各年齢区分別人口}} \times 100$

4 10年間（平成17年～27年）の変化

続く少子高齢化、減少する生産年齢人口

年少人口割合は、県全体で平成17年の14.2%から平成27年の13.1%へと1.1ポイント低下している。市町別にみると川北町と野々市市以外の全ての市町で低下し、低下幅が最も大きいのは津幡町の3.1ポイントとなっている。

生産年齢人口割合は、県全体ではこの10年間で64.9%から59.0%へと5.9ポイント低下している。市町別にみると全ての市町で低下しており、低下幅が最も大きいのは、能登町の8.8ポイントとなっている。

一方、老年人口割合は、県全体ではこの10年間で20.9%から27.9%へと7.0ポイント上昇している。市町別にみると全ての市町で上昇しており、上昇幅が最も大きいのは、能登町の11.2ポイントとなっている。

【表2、図3～6】

表2 年齢3区分別人口割合の推移(平成17年・27年)

市町名	年少人口			生産年齢人口			老年人口		
	平成17年 (%)	平成27年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成17年 (%)	平成27年 (%)	割合の 増減 (ポイント)	平成17年 (%)	平成27年 (%)	割合の 増減 (ポイント)
石川県	14.2	13.1	△ 1.1	64.9	59.0	△ 5.9	20.9	27.9	7.0
金沢市	13.9	13.2	△ 0.7	67.7	61.9	△ 5.8	18.4	25.0	6.6
七尾市	13.0	11.1	△ 1.9	60.5	53.7	△ 6.8	26.5	35.2	8.7
小松市	15.4	14.2	△ 1.2	64.3	58.2	△ 6.1	20.3	27.6	7.3
輪島市	10.6	8.6	△ 2.0	54.5	48.0	△ 6.5	35.0	43.3	8.3
珠洲市	10.4	8.2	△ 2.2	52.3	44.6	△ 7.7	37.3	47.3	10.0
加賀市	13.2	11.5	△ 1.7	62.5	55.0	△ 7.5	24.4	33.5	9.1
羽咋市	12.7	10.8	△ 1.9	60.6	52.3	△ 8.3	26.7	36.9	10.2
かほく市	15.4	13.7	△ 1.7	63.5	57.5	△ 6.0	21.1	28.8	7.7
白山市	15.5	14.5	△ 1.0	66.6	59.8	△ 6.8	17.9	25.7	7.8
能美市	16.6	15.5	△ 1.1	65.0	60.0	△ 5.0	18.4	24.5	6.1
野々市市	14.5	15.0	0.5	72.7	66.7	△ 6.0	12.8	18.3	5.5
川北町	18.9	20.4	1.5	63.1	59.1	△ 4.0	18.0	20.5	2.5
津幡町	18.1	15.0	△ 3.1	65.7	63.1	△ 2.6	16.3	22.0	5.7
内灘町	16.3	13.9	△ 2.4	68.5	61.5	△ 7.0	15.2	24.6	9.4
志賀町	11.8	10.2	△ 1.6	57.1	49.2	△ 7.9	31.1	40.6	9.5
宝達志水町	13.9	10.9	△ 3.0	60.0	53.4	△ 6.6	26.1	35.6	9.5
中能登町	13.3	12.7	△ 0.6	59.4	52.8	△ 6.6	27.2	34.5	7.3
穴水町	10.0	7.9	△ 2.1	54.1	46.0	△ 8.1	35.9	46.0	10.1
能登町	10.7	8.2	△ 2.5	53.9	45.1	△ 8.8	35.5	46.7	11.2

注 1 平成17年は国勢調査結果であり、平成27年は県推計人口である。

2 平成17年については、同年調査時の市町を上記19市町に組み替えて積算した。

3 各年10月1日現在

图3 市町別年少人口割合(平成17年・27年)

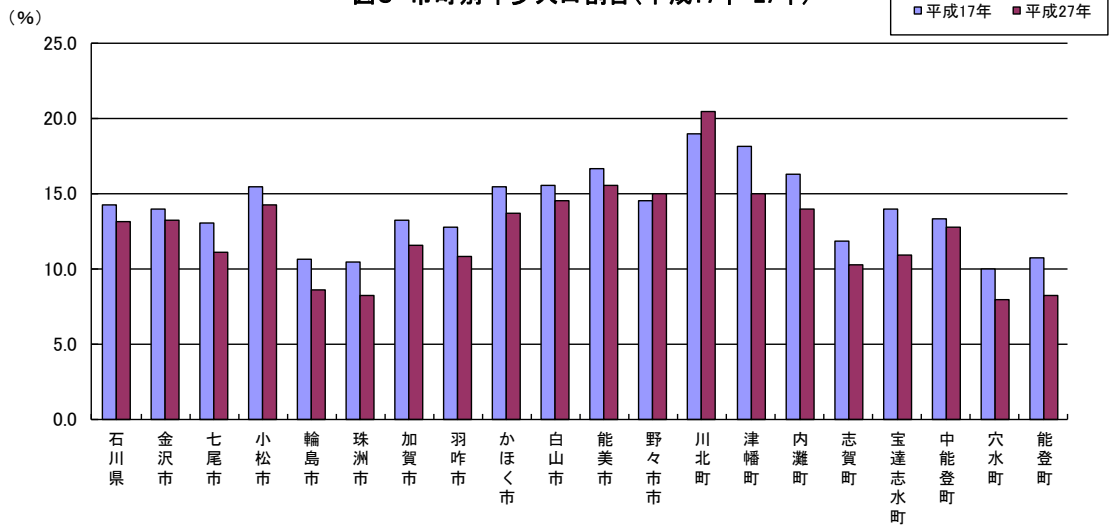


图4 市町別生産年齢人口割合(平成17年・27年)

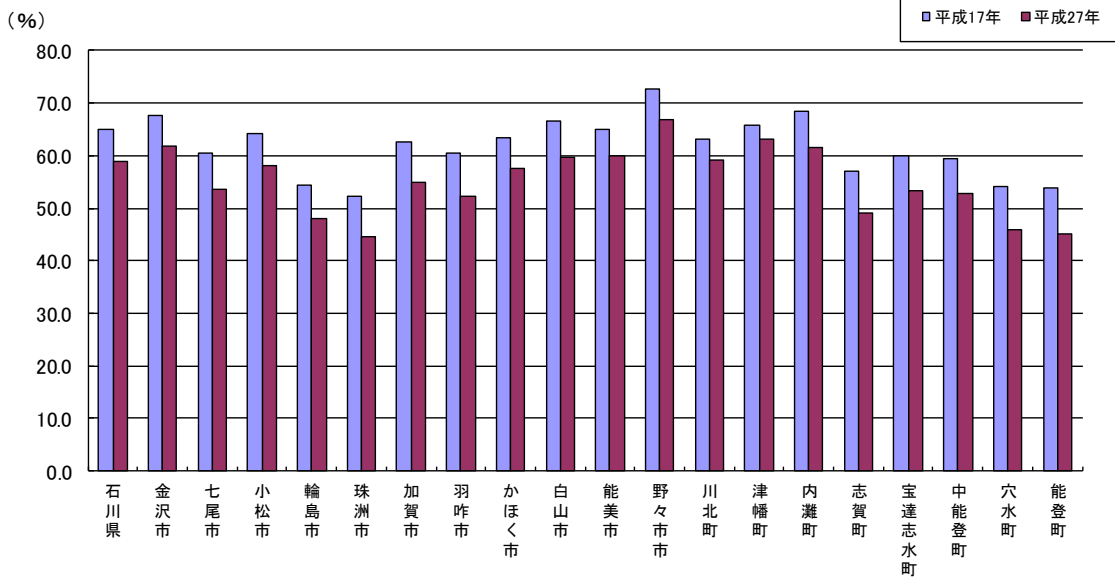


图5 市町別老年人口割合(平成17年・27年)

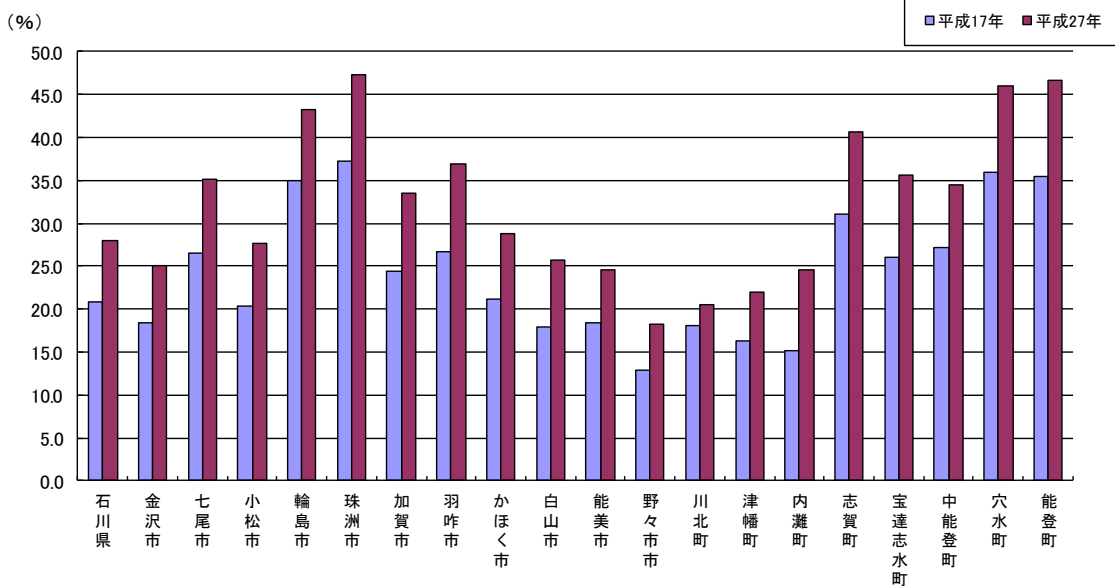
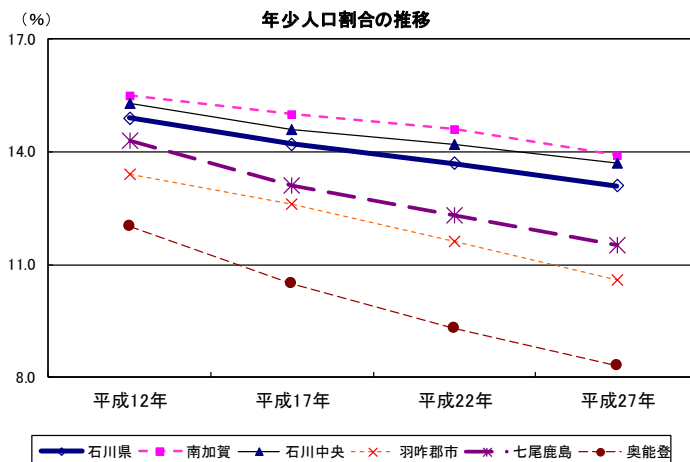


図6 年齢3区分別人口割合(県内地域別)の推移(平成12年～27年)

・年少人口割合の推移

(単位：%)

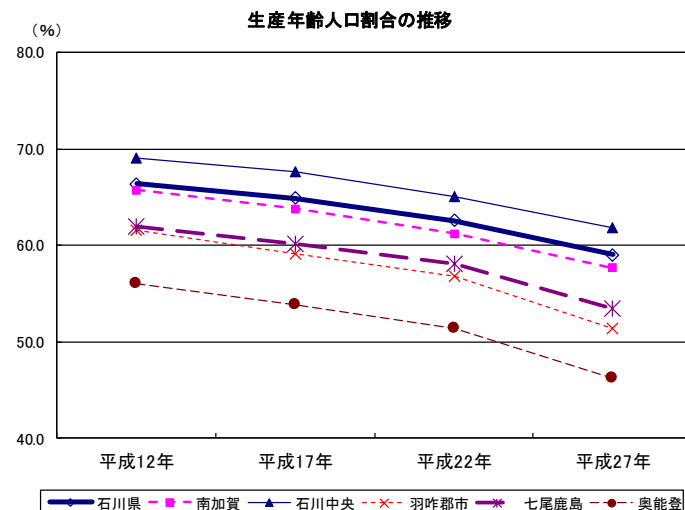
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
石川県	14.9	14.2	13.7	13.1
南加賀	15.5	15.0	14.6	13.9
石川中央	15.3	14.6	14.2	13.7
羽咋郡市	13.4	12.6	11.6	10.6
七尾鹿島	14.3	13.1	12.3	11.5
奥能登	12.0	10.5	9.3	8.3



・生産年齢人口割合の推移

(単位：%)

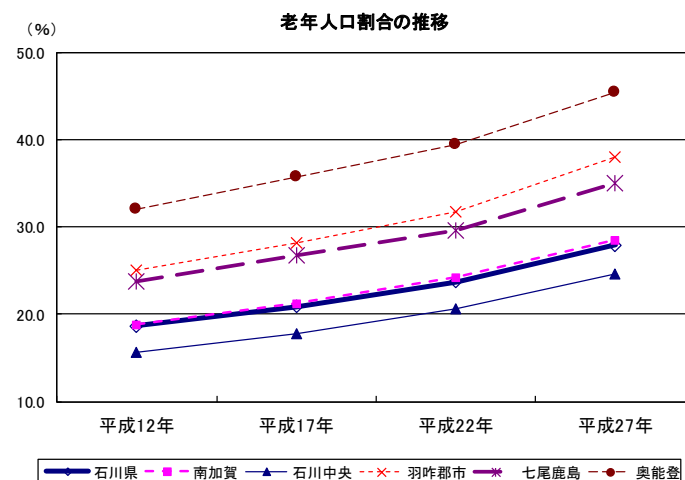
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
石川県	66.4	64.9	62.6	59.0
南加賀	65.7	63.8	61.2	57.7
石川中央	69.0	67.6	65.1	61.8
羽咋郡市	61.6	59.1	56.8	51.4
七尾鹿島	61.9	60.2	58.1	53.5
奥能登	56.0	53.8	51.4	46.3



・老年人口割合の推移

(単位：%)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
石川県	18.7	20.9	23.7	27.9
南加賀	18.8	21.2	24.2	28.5
石川中央	15.7	17.8	20.6	24.6
羽咋郡市	25.0	28.2	31.7	38.0
七尾鹿島	23.8	26.7	29.6	35.0
奥能登	32.0	35.7	39.4	45.4



※区分

- 南加賀：小松市、加賀市、能美市、能美郡
- 石川中央：金沢市、かほく市、白山市、野々市市、河北郡
- 羽咋郡市：羽咋市、羽咋郡
- 七尾鹿島：七尾市、鹿島郡
- 奥能登：輪島市、珠洲市、鳳珠郡

5 人口動態（速報）

平成26年10月1日から平成27年9月30日の1年間で、自然動態は出生数9,263人 死亡数12,468人で3,205人の減少だった。社会動態は県外からの転入者数22,345人、県外への転出者数22,192人で153人の増加だった。【表3～5、参考表4】

表3 年次別、要因別人口動態数の推移

単位:人

年次	人口増減数	自然動態			社会動態			国勢調査結果による補間補正数
		自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
平成17年	△ 2,496	△ 25	10,330	10,355	△ 2,318	22,882	25,200	△ 153
18	△ 1,167	△ 264	10,194	10,458	△ 1,971	23,019	24,990	1,068
19	△ 309	△ 237	10,278	10,515	△ 1,140	22,866	24,006	1,068
20	△ 179	△ 461	10,473	10,934	△ 786	22,466	23,252	1,068
21	△ 1,443	△ 1,316	10,006	11,322	△ 1,195	22,020	23,215	1,068
22	△ 1,140	△ 1,748	9,724	11,472	△ 461	21,329	21,790	1,069
23	△ 3,473	△ 2,430	9,507	11,937	△ 1,043	20,890	21,933	-
24	△ 3,362	△ 2,375	9,670	12,045	△ 987	20,872	21,859	-
25	△ 3,938	△ 2,962	9,515	12,477	△ 976	21,958	22,934	-
26	△ 3,565	△ 2,949	9,159	12,108	△ 616	21,588	22,204	-
27	△ 3,052	△ 3,205	9,263	12,468	153	22,345	22,192	-

注：各年の人口増減数は前年10月から当年9月までの自然動態、社会動態及び国勢調査結果による補間補正数の計である。

表4 過去1年間の自然動態の順位(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数 (人)		増加率 (%)		減少数 (人)		減少率 (%)	
1	野々市市	393	野々市市	0.70	七尾市	540	能登町	1.79
2	川北町	24	川北町	0.38	加賀市	483	穴水町	1.59
3	津幡町	12	津幡町	0.03	輪島市	426	輪島市	1.55
4	-	-	-	-	金沢市	392	珠洲市	1.47
5	-	-	-	-	能登町	316	志賀町	1.05

(注) 平成26年10月から平成27年9月までの1年間の計である。

表5 過去1年間の社会動態の順位(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

順位	増加				減少			
	増加数 (人)		増加率 (%)		減少数 (人)		減少率 (%)	
1	金沢市	1,740	金沢市	0.37	加賀市	558	珠洲市	1.24
2	能美市	140	能美市	0.29	七尾市	320	能登町	1.13
3	白山市	132	野々市市	0.20	能登町	199	加賀市	0.82
4	野々市市	114	白山市	0.12	珠洲市	184	志賀町	0.80
5	かほく市	30	かほく市	0.09	志賀町	166	中能登町	0.59

(注) 平成26年10月から平成27年9月までの1年間の計である。